2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社スマートバリュー	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9417	URL	https://www.smartvalue.ad.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表執行役社長	（氏名）	渋谷　順
問合せ先責任者	（役職名） 社長室 Division Manager	（氏名）	大門　朋恵　（TEL）06-6227-5577
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,561	25.9	84	―	△133	―	△141	―
2026年６月期第１四半期	1,239	53.9	△68	―	△293	―	△242	―

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期　△153百万円（　―%）　2026年６月期第１四半期　△276百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△14.22	―
2026年６月期第１四半期	△23.36	―

(注) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	22,743	1,573	5.4
2026年６月期	22,423	1,727	6.1

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　1,228百万円　2026年６月期　1,369百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	3,342	18.1	59	―	△338	―	△351	―	△35.37
通期	7,325	24.9	882	394.2	△6	―	△44	―	△4.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	10,679,800株	2026年６月期	10,679,800株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	741,890株	2026年６月期	741,890株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	9,937,910株	2026年６月期１Ｑ	10,392,310株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（収益認識関係） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に景気の緩やかな回復基調にあるものの、緊迫化する中東情勢等の地政学リスクに加え、エネルギー価格を筆頭とした物価上昇の継続による消費の停滞や金融資本市場の変動の影響も相まって、経済の先行きに係る不確実性は依然として高い状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループでは「スマート&テクノロジーで歴史に残る社会システムを創る！」をミッションとし事業を展開してまいりました。

当第１四半期連結累計期間においては、GLION ARENA KOBE（注１）における貸館事業の稼働率向上による収益性の改善により増収となり、営業損益は黒字に転換いたしました。また、モビリティ・サービスにおいては利益率の高い受託開発業務の獲得が当初の想定を上回りました。その結果、当第１四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,561,060千円（前年同期比25.9％増）、営業利益は84,359千円（前年同期は68,002千円の損失）、経常損失は133,712千円（前年同期は293,377千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は141,342千円（前年同期は242,808千円の損失）となりました。

当第１四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりです。

＜モビリティ・サービスセグメント＞

モビリティ・サービスセグメントは、100年に一度といわれる自動車産業の大変革期において、コネクティッドカー（注２）サービスである“CiEMSシリーズ”（注３）と、カーシェアリング・無人化などクルマのサービス化を支援するプラットフォーム“Kuruma Base”（注４）を軸に、交通の安全・安心や車両運用の効率化に資する多様なモビリティIoTサービスを提供しております。

当第１四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に見られた3Gサービスの停波に伴う車載器の入れ替え特需が一巡したことにより減収となったものの、利益率の高い受託開発業務の増加により増益となりました。引き続き、新規契約獲得によるMRR（月次経常収益）の増加と更なる業務効率化などを推進してまいります。

以上の結果、セグメント売上高は279,895千円（前年同期比5.7％減）、セグメント利益は66,273千円（前年同期比14.0％増）となりました。

＜スマートベニューセグメント＞

スマートベニューセグメントでは、GLION ARENA KOBEを軸に、政府が成長産業として位置付けるスタジアム・アリーナ改革やスマートベニューという概念に則り、新たな市場の創造を目指しております。さらにアリーナを核としたまちづくりを通じて経済的価値と社会的価値の両立を図りながら、当社グループの成長をけん引する事業になるよう推進しております。

当第１四半期連結累計期間においては、GLION ARENA KOBEにおける貸館事業の稼働率向上により増収となり、セグメント損益は黒字に転換し、2026年６月期第４四半期に続き四半期単位でのセグメント黒字を達成いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は1,288,567千円（前年同期比35.6％増）、セグメント利益は83,924千円（前年同期は34,801千円の損失）となりました。

［用語解説］

注１．GLION ARENA KOBE	：NTT都市開発株式会社、株式会社NTTドコモ及び当社の３社企業コンソーシアムによる民設民営のアリーナプロジェクトである「神戸アリーナプロジェクト」のもと、兵庫県神戸市中央区の新港突堤西地区（第２突堤）に開業した多目的アリーナ。2024年２月に名称を「GLION ARENA KOBE（ジーライオンアリーナ神戸）」と決定した。
注２．コネクティッドカー	：インターネットに接続され、情報を送ることも受け取ることもできる自動車のこと。
注３．CiEMSシリーズ	：当社が提供する、モビリティから取得した多様なデータを分析・活用することで、交通事故の削減、渋滞の緩和、車両活用の効率化など、様々な社会課題を解決するためのサービス。
注４．Kuruma Base	：当社が提供する、クルマのコネクティッド化からサービス化までをインテグレートするプラットフォーム。

（２）財政状態に関する説明

①資産

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、22,743,740千円となり、前連結会計年度末と比べ320,709千円の増加となりました。

流動資産は4,758,347千円となり、前連結会計年度末と比べ583,832千円の増加となりました。その主たる要因は、現金及び預金が613,292千円増加したことによるものであります。

固定資産は17,985,185千円となり、前連結会計年度末と比べ263,039千円の減少となりました。その主たる要因は、建物及び構築物が38,443千円、リース資産が209,588千円減少したことによるものであります。

繰延資産は206千円となり、前連結会計年度末と比べ83千円の減少となりました。その主たる要因は、株式交付費が83千円減少したことによるものであります。

②負債

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、21,169,992千円となり、前連結会計年度末と比べ474,588千円の増加となりました。

流動負債は2,981,659千円となり、前連結会計年度末と比べ657,640千円の増加となりました。その主たる要因は、契約負債が665,098千円増加したことによるものであります。

固定負債は18,188,333千円となり、前連結会計年度末と比べ183,051千円の減少となりました。その主たる要因は、長期借入金が51,213千円、リース債務が117,072千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、1,573,747千円となり、前連結会計年度末と比べ153,879千円の減少となりました。その主たる要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により141,342千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想については、2026年８月14日付「2026年６月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました通期の予想数値に変更はございません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,084,096	3,697,389
受取手形、売掛金及び契約資産	419,853	474,373
商品	87,344	108,860
仕掛品	2,292	971
その他	580,928	476,752
流動資産合計	4,174,515	4,758,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,136,686	2,098,243
リース資産（純額）	15,405,122	15,195,534
その他（純額）	66,443	80,633
有形固定資産合計	17,608,252	17,374,411
無形固定資産		
ソフトウエア	152,096	142,364
その他	7,194	7,178
無形固定資産合計	159,291	149,543
投資その他の資産		
繰延税金資産	57,453	44,836
敷金及び保証金	247,316	248,656
その他	175,911	167,738
投資その他の資産合計	480,681	461,231
固定資産合計	18,248,224	17,985,185
繰延資産		
株式交付費	290	206
繰延資産合計	290	206
資産合計	22,423,030	22,743,740

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,693	69,823
１年内返済予定の長期借入金	204,852	204,852
リース債務	421,582	439,274
未払法人税等	42,692	12,293
契約負債	1,096,205	1,761,303
賞与引当金	63,510	32,221
ポイント引当金	2,123	1,913
その他	439,358	459,976
流動負債合計	2,324,019	2,981,659
固定負債		
長期借入金	1,588,020	1,536,807
リース債務	15,906,170	15,789,097
資産除去債務	293,519	294,990
その他	583,675	567,438
固定負債合計	18,371,384	18,188,333
負債合計	20,695,403	21,169,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044,944	1,044,944
資本剰余金	1,114,988	1,114,988
利益剰余金	△435,811	△577,154
自己株式	△354,378	△354,378
株主資本合計	1,369,741	1,228,399
非支配株主持分	357,884	345,348
純資産合計	1,727,626	1,573,747
負債純資産合計	22,423,030	22,743,740

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,239,903	1,561,060
売上原価	868,735	1,053,909
売上総利益	371,167	507,151
販売費及び一般管理費	439,170	422,792
営業利益又は営業損失（△）	△68,002	84,359
営業外収益		
受取利息	2,238	4,296
違約金収入	1,283	1,240
補助金収入	―	2,041
賃貸料収入	15,269	―
その他	1,031	2,185
営業外収益合計	19,823	9,763
営業外費用		
支払利息	227,096	224,473
創立費償却	29	―
株式交付費償却	459	83
賃貸収入原価	14,353	―
固定資産圧縮損	―	2,041
その他	3,259	1,236
営業外費用合計	245,198	227,835
経常損失（△）	△293,377	△133,712
特別損失		
固定資産除却損	0	―
特別損失合計	0	―
税金等調整前四半期純損失（△）	△293,377	△133,712
法人税、住民税及び事業税	1,844	7,550
法人税等調整額	△18,890	12,616
法人税等合計	△17,046	20,166
四半期純損失（△）	△276,330	△153,879
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△33,522	△12,536
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△242,808	△141,342

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△276,330	△153,879
四半期包括利益	△276,330	△153,879
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,808	△141,342
非支配株主に係る四半期包括利益	△33,522	△12,536

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	モビリティ・サービス	スマートベニュー	合計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	105,091	111,539	216,630	―	216,630
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	191,834	831,437	1,023,272	―	1,023,272
顧客との契約から生じる収益	296,926	927,352	1,224,279	―	1,224,279
その他の収益	―	15,624	15,624	―	15,624
外部顧客への売上高	296,926	942,976	1,239,903	―	1,239,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	7,415	7,415	△7,415	―
計	296,926	950,392	1,247,318	△7,415	1,239,903
セグメント利益又は損失（△）	58,154	△34,801	23,352	△91,355	△68,002

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△91,355千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	モビリティ・サービス	スマートベニュー	合計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	47,987	181,471	229,459	―	229,459
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	231,907	552,955	784,862	―	784,862
顧客との契約から生じる収益	279,895	734,426	1,014,322	―	1,014,322
その他の収益	―	546,738	546,738	―	546,738
外部顧客への売上高	279,895	1,281,165	1,561,060	―	1,561,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	7,402	7,402	△7,402	―
計	279,895	1,288,567	1,568,462	△7,402	1,561,060
セグメント利益	66,273	83,924	150,197	△65,838	84,359

（注）１．セグメント利益の調整額△65,838千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）
減価償却費	267,139千円	265,996千円

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記　（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項　（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。